

Oracle® Database

クイック・インストール・ガイド

10g リリース 1 (10.1.0.2.0) for Microsoft Windows (64-bit)

部品番号 : B13941-02

2004 年 11 月

ORACLE®

はじめに

このマニュアルで説明されている各種サービスは日本オラクル社から提供されるサービスです。サービスは、製品をご購入された日本オラクル正規代理店各社から提供される場合もありますが、サービス内容はこのマニュアルの説明と異なることがあります。

このマニュアルでは、**Oracle Database** を 64 ビット **Windows** システムに短時間でインストールする方法を説明します。次の内容について説明します。

1. [ご注文内容の確認](#)
2. [このマニュアルの概要](#)
3. [管理者権限によるシステムへのログオン](#)
4. [ソフトウェア要件の確認](#)
5. [ハードウェア要件の確認](#)
6. [Oracle Database ソフトウェアのインストール](#)
7. [Oracle Database Companion CD からの製品のインストール](#)
8. [インストール後のタスク](#)
9. [追加情報](#)
10. [その他の情報](#)

1 ご注文内容の確認

メディア・パック受領後、ただちに同梱の Packing List をもとにパッケージ内容物を確認してください。破損、欠品、不明な点などのお問合せは、本製品をご購入された日本オラクル正規代理店、もしくは Oracle Direct までお寄せください。

メディア・パックには、このマニュアルの他に次の製品が同梱されています。

- 製品メディア

製品メディアには、製品をインストールするためのソフトウェアおよび README ファイルが含まれています。

- Start Here CD (赤いレーベル)

Start Here CD には、インストール・マニュアル、リリース・ノート、お役に立つインターネット・リンクおよびメディア・パックに関する情報が含まれています。

- Documentation CD

Documentation CD には、オラクル製品のオンライン・ドキュメントが含まれています。

注意： メディア・パックによって、Start Here CD や Documentation CD が同梱されていない製品があります。Packing List を参照して確認してください。

2 このマニュアルの概要

このマニュアルでは、デフォルトのインストール・オプションを使用して Oracle Database をインストールする方法を説明します。

このマニュアルで説明するタスク

このマニュアルでは、次のタスクについて説明します。

- Oracle Database をサポートするためのシステムの構成
- ローカル・ファイル・システムへの Oracle Database ソフトウェアのインストール
- データベース・ファイルの格納にローカル・ファイル・システムを使用する汎用 Oracle データベースの構成
- システム上の Oracle Database のパフォーマンスを改善するソフトウェアの、Oracle Database Companion CD からのインストール

正しくインストールされた場合の結果

Oracle Database のインストールに成功すると、次の状態になります。

- 作成したデータベースおよびデフォルトの Oracle Net リスナー・プロセスがシステム上で稼働します。
- Oracle Enterprise Manager Database Control および iSQL*Plus が稼働し、Web ブラウザからアクセスできます。

4 Oracle Database クイック・インストレーション・ガイド

- Oracle Cluster Synchronization Services (CSS) デーモンのシングルノード・バージョンが稼働し、システムの起動時に自動起動するよう構成されます。

このマニュアルで説明しないタスク

このマニュアルでは、次のタスクの実行方法は説明しません。

- すでに Oracle ソフトウェアが存在するシステムへのソフトウェアのインストール
- クラスタへの Oracle Cluster Ready Services (CRS) および Oracle Real Application Clusters (RAC) のインストール
- Enterprise Manager の電子メール通知または自動バックアップの有効化
- データベース記憶域としての自動記憶域管理 (ASM) や RAW デバイスなどの代替記憶域オプションの使用

関連資料： CRS、RAC および ASM のインストールの詳細は、『Oracle Real Application Clusters クイック・インストール・ガイド for Oracle Database Standard Edition』を参照してください。

追加インストール情報の入手先

このマニュアルで説明されていないタスクに関する情報を含む Oracle Database コンポーネントのインストール方法の詳細は、次のいずれかのマニュアルを参照してください。

- 単一のシステムにソフトウェアをインストールする場合は、『Oracle Database インストレーション・ガイド』を参照してください。
- Oracle Real Application Clusters をインストールする場合は、『Oracle Real Application Clusters インストレーションおよび構成』を参照してください。

このマニュアルでは、RAC インストールの前提条件である Oracle Cluster Ready Services のインストール方法も説明しています。

Oracle Database Companion CD コンポーネントのインストール方法の詳細は、次のいずれかのマニュアルを参照してください。

- 『Oracle Database Companion CD インストレーション・ガイド』
- 『Oracle Database Companion CD クイック・インストール・ガイド』

3 管理者権限によるシステムへのログオン

Oracle コンポーネントをインストールするコンピュータに、Administrators グループのメンバーとしてログオンします。プライマリ・ドメイン・コントローラ (PDC) またはバックアップ・ドメイン・コントローラ (BDC) にインストールする場合は、Domain Administrators グループのメンバーとしてログオンします。

4 ソフトウェア要件の確認

表 1 は、Oracle Database のソフトウェア要件の一覧です。

表 1 ソフトウェア要件

要件	説明
システム・アーキテクチャ	<p>Itanium 2 64 ビット</p> <p>注意：Oracle Database for Windows には、32 ビットと 64 ビットの両バージョンが用意されています。現在、64 ビット・バージョンのデータベースは、64 ビット・バージョンのオペレーティング・システムで実行する必要があります。32 ビット・バージョンのデータベースは、32 ビット・バージョンのオペレーティング・システムで実行する必要があります。</p>
オペレーティング・システム	<p>Oracle Database for Windows (64 ビット) は、次のオペレーティング・システムでサポートされています。</p> <ul style="list-style-type: none">■ Windows XP 64-bit Edition Version 2003■ Windows Server 2003 Datacenter Edition for 64-bit Itanium 2 Systems■ Windows Server 2003 Enterprise Edition for 64-bit Itanium 2 Systems <p>Windows Multilingual User Interface Pack は、Windows XP 64-bit Edition および Windows Server 2003 でサポートされています。</p>

表 1 ソフトウェア要件 (続き)

要件	説明
コンパイラ	<p data-bbox="342 197 930 249">Object Oriented COBOL (OOCOBOL) の仕様はサポートされていません。</p> <p data-bbox="342 263 930 342">次のコンポーネントは、Microsoft Platform SDK コンパイラおよび Intel Electron C 7.1 コンパイラでサポートされています。</p> <ul data-bbox="342 356 767 550" style="list-style-type: none"><li data-bbox="342 356 640 379">■ Oracle C++ Call Interface<li data-bbox="342 397 591 420">■ Oracle Call Interface<li data-bbox="342 439 581 462">■ 外部コールアウト<li data-bbox="342 480 767 503">■ PL/SQL のネイティブ・コンパイル<li data-bbox="342 522 443 544">■ XDK
ネットワーク・プロトコル	<p data-bbox="342 578 930 657">Oracle Net Foundation レイヤーでは、Oracle protocol support を使用して、業界標準の次のネットワーク・プロトコルと通信します。</p> <ul data-bbox="342 671 640 780" style="list-style-type: none"><li data-bbox="342 671 464 694">■ TCP/IP<li data-bbox="342 712 640 735">■ SSL を使用する TCP/IP<li data-bbox="342 754 519 777">■ Named Pipes

5 ハードウェア要件の確認

Oracle Database には、次のハードウェア・コンポーネントが必要です。

- RAM: 1GB 以上
- 仮想メモリー: 512MB
- ハード・ディスク領域: 表 2 を参照
- 一時ディスク領域: 140MB
- ビデオ・アダプタ: 256 色
- プロセッサ: 各インストール・タイプに Itanium 2 以上

ハード・ディスク領域要件

この項では、NT File System (NTFS) のファイル・システムに対するシステム要件を示します。Oracle コンポーネントは、NTFS にインストールすることをお勧めします。

この項で示す NTFS のシステム要件は、Oracle Universal Installer の「サマリー」画面に表示されるハード・ディスクの値より正確です。「サマリー」画面には、ディスク領域、データベースの作成に必要な領域、またはハード・ドライブで展開される圧縮ファイルのサイズの正確な値は表示されません。

Oracle Database コンポーネントのハード・ディスク要件には、オペレーティング・システムがインストールされているパーティションに Java

Runtime Environment (JRE) および Oracle Universal Installer をインストールするために必要な 32MB が含まれます。十分な領域が検出されないと、インストールは失敗し、エラー・メッセージが表示されます。

表 2 に、初期データベースに対する要件を含め、NTFS の領域要件を示します。初期データベースには、720MB のディスク領域が必要です。

表 2 NTFS のハード・ディスク領域要件

インストール・タイプ	システム・ドライブ	Oracle ホーム・ドライブ
基本インストール	140MB	2.78GB
拡張インストール : Enterprise Edition	140MB	2.78GB
拡張インストール : Standard Edition	140MB	2.72GB
拡張インストール : Personal Edition	140MB	2.77GB

ハードウェア要件の確認

システムがこれらの要件を満たしていることを確認するには、次の手順を実行します。

1. 物理 RAM サイズを確認します。たとえば、Windows XP を使用するコンピュータの場合、コントロールパネルの「システム」を開き、「全般」タブを選択します。システムにインストールされている物理 RAM のサイズが必要サイズより小さい場合は、先に進む前にメモリーを増設する必要があります。
2. 構成されている仮想メモリーのサイズ（ページング・ファイル・サイズともいう）を確認します。たとえば、Windows XP を使用するコンピュータの場合、コントロールパネルの「システム」を開き、「詳細設定」タブを選択し、「パフォーマンス」セクションの「設定」をクリックします。「詳細設定」タブを選択し、「仮想メモリ」セクションの「変更」をクリックします。

追加の仮想メモリーの構成方法は、必要に応じてご使用のオペレーティング・システムのマニュアルを参照してください。

3. システム上の空きディスク領域の量を調べます。たとえば、Windows XP を使用するコンピュータの場合、「マイ コンピュータ」を開き、Oracle ソフトウェアをインストールするドライブを右クリックし、「プロパティ」を選択します。

4. temp ディレクトリで使用可能なディスク領域のサイズを確認します。これは、空きディスク領域の合計量から、インストールする Oracle ソフトウェアに必要な領域量を引いた量に相当します。

temp ディレクトリで使用可能なディスク領域が 140MB 未満の場合は、まず不要なファイルをすべて削除します。それでも temp ディスク領域が 140MB 未満である場合は、TEMP または TMP 環境変数が別のハード・ドライブを指すように設定します。たとえば Windows XP を使用しているコンピュータの場合、コントロールパネルから「システム」を開いて「詳細設定」タブを選択し、「環境変数」をクリックします。

注意： ソフトウェアとは異なるディスク・ドライブに Oracle データベースをインストールすると、パフォーマンスは向上しますが、最適なパフォーマンスを得るためには、3つ以上のディスクに Oracle データベース・ファイルを分散する必要があります。『Oracle Database インストールেশョン・ガイド』では、より複雑で時間のかかるこのようなインストールについて説明しています。ただし、このようなインストールは、経験を積んだユーザーのみが行うようにしてください。

6 Oracle Database ソフトウェアのインストール

Oracle Universal Installer を起動し、次の手順で Oracle ソフトウェアをインストールします。

1. 「Oracle Database 10g Release 1 (10.1.0)」というラベルの CD-ROM を挿入するか、Oracle Database 10g リリース 1 (10.1) の DVD-ROM で Oracle Database の場所に移動します。

ハード・ディスクからインストールする場合は、`setup.exe` をダブルクリックします。

インストール・メディアからインストールする場合は、Autorun 画面が自動的に表示されます。Autorun 画面が表示されない場合は、次のようにします。

- a. 「スタート」 → 「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
- b. 次のように入力します。

```
DRIVE_LETTER:¥autorun¥autorun.exe
```

Autorun 画面が表示されます。Autorun 画面から**製品のインストール / 削除**をクリックします。「ようこそ」画面が表示されません。

2. 次のガイドラインに従ってインストールを完了します。
- 表 3 は、Oracle Universal Installer の各画面で推奨するアクションを説明したものです。
 - より詳細な情報が必要な場合、またはデフォルト以外のオプションを選択する場合は、「ヘルプ」をクリックすると追加情報が表示されます。
 - ソフトウェアのインストール中またはリンク中にエラーが発生した場合は、『Oracle Database インストレーション・ガイド』のトラブルシューティング情報を参照してください。

表 3 Oracle Universal Installer の画面

画面	推奨するアクション
ようこそ	<p>「基本インストール」または「拡張インストール」を選択します。</p> <p>Oracle Database を短時間でインストールする場合は、「基本インストール」を選択します。このインストール方法に必要なユーザー入力は最小で、この表に一覧した画面の多くは表示されません。ソフトウェアがインストールされ、オプションで、この画面で指定した情報を使用して汎用データベースが作成されます。</p> <p>「次へ」をクリックします。</p>
ファイルの場所の指定	<p>「インストール先」セクションでデフォルト値を確定するか、Oracle コンポーネントをインストールする Oracle ホームの名前とディレクトリ・パスを入力します。</p> <p>「次へ」をクリックします。</p>
インストール・タイプの選択	<p>「Enterprise Edition」、「Standard Edition」、「Personal Edition」または「カスタム」を選択します。</p> <p>「次へ」をクリックします。</p>

表 3 Oracle Universal Installer の画面（続き）

画面	推奨するアクション
データベース構成の 選択	用途に応じて最適なデータベース構成を選択します。 Oracle Universal Installer または Database Configuration Assistant のオンライン・ヘルプで、これらの事前構成済データベース・タイプの説明を参照してください。 「次へ」をクリックします。
データベース構成 オプションの指定	次の情報を指定し、「次へ」をクリックします。 グローバル・データベース名 データベースの名前に続き、システムのドメイン名を指定します。 <code>sales.your_domain.com</code> 最初のピリオドの前に指定した値は、 SID 値にも使用されます。 データベース・キャラクタ・セットの選択 システム・ロケールに基づくデフォルト値を確定するか、複数の言語をサポートする必要がある場合には、「ヘルプ」をクリックして、サポートされているキャラクタ・セットの詳細を調べます。 サンプル・スキーマ付きデータベースを作成 このオプションを選択して、サンプル・スキーマを含む EXAMPLE 表領域を作成します（オプションですが、推奨します）。

表 3 Oracle Universal Installer の画面 (続き)

画面	推奨するアクション
データベース管理 オプションの選択	デフォルト値を確定し、「次へ」をクリックします。 注意: ソフトウェアをインストールした後で、電子メール通知を有効にできます。
データベース・ ファイル記憶域 オプションの指定	「ファイルシステム」オプションを選択し、データベース・ファイルの場所を指定して、「次へ」をクリックします。 データベース・ファイルの位置の指定: デフォルトの場所を確定するか、新しいファイルの場所を指定します。
バックアップ・ オプションおよび リカバリ・ オプションの指定	デフォルト値を確定し、「次へ」をクリックします。 注意: ソフトウェアをインストールした後で、自動バックアップを有効にできます。
データベース・ スキーマの パスワードの指定	権限を持つすべてのデータベース・アカウントのパスワードを入力および確認し、「次へ」をクリックします。 注意: 各アカウントには、異なるパスワードを指定することをお勧めします。指定したパスワードは記憶しておいてください。
サマリー	表示された情報を確認し、「インストール」をクリックします。

表 3 Oracle Universal Installer の画面（続き）

画面	推奨するアクション
インストール	「インストール」画面には、製品のインストール中、ステータス情報が表示されます。
Configuration Assistant	<p data-bbox="342 270 926 350">「Configuration Assistant」画面には、ソフトウェアの構成およびデータベースの作成を実行する Configuration Assistant のステータス情報が表示されます。</p> <p data-bbox="342 366 940 418">Database Configuration Assistant の終了後、画面で情報を確認します。次の情報を書き留めます。</p> <ul data-bbox="342 433 850 632" style="list-style-type: none"><li data-bbox="342 433 667 456">■ Enterprise Manager の URL<li data-bbox="342 474 824 498">■ データベース作成ログ・ファイルの場所<li data-bbox="342 515 702 539">■ グローバル・データベース名<li data-bbox="342 557 629 581">■ システム識別子 (SID)<li data-bbox="342 598 850 622">■ サーバー・パラメータ・ファイル名と場所 <p data-bbox="342 650 926 730">「OK」をクリックして続行するか、「パスワード管理」をクリックしてアカウントのロックを解除し、パスワードを設定します。</p>

表 3 Oracle Universal Installer の画面 (続き)

画面	推奨するアクション
インストールの終了	<p>Configuration Assistant により、Oracle Enterprise Manager Database Control など、Web ベースのいくつかのアプリケーションが構成されます。この画面には、これらのアプリケーションに対して構成された URL が表示されます。使用されている URL を書き留めます。</p> <p>これらの URL で使用されるポート番号も、次のファイルに記録されます。</p> <pre>%ORACLE_HOME%\install\portlist.ini</pre> <p>Oracle Universal Installer を終了するには、「終了」をクリックし、「はい」をクリックします。Web ブラウザに Oracle Enterprise Manager Database Control が表示されます。</p>

7 Oracle Database Companion CD からの製品のインストール

Oracle Database Companion CD には、Oracle Database のパフォーマンスを改善する、あるいは機能を補完する製品が含まれています。ほとんどの場合、Companion CD から Oracle Database 10g Products をインストールすることをお勧めします。

注意： Oracle JVM または Oracle *interMedia* を使用する場合には、Companion CD から「Oracle Database 10g Products」インストール・タイプをインストールする必要があります。このインストールにより、これらの製品のパフォーマンスが最適化されます。

Companion CD に含まれている製品

Companion CD には、2 セットの製品が含まれています。

■ Oracle Database 10g Products

Oracle Database のサンプル、Oracle JVM および Oracle *interMedia* 用にネイティブにコンパイルされた Java ライブラリ、Oracle Text 提供のナレッジ・ベース、および Legato Single Server Version (LSSV) が含まれます。

注意： これらの製品は、Oracle Database 10g リリース 1 (10.1) と同じ Oracle ホーム・ディレクトリにインストールする必要があります。

■ Oracle Database 10g Companion Products

Oracle HTTP Server および Oracle HTML DB が含まれます。

注意： Oracle HTTP Server は、独自の Oracle ホーム・ディレクトリにインストールする必要があります。Oracle HTML DB は、Oracle HTTP Server とともにインストールするか、または Oracle HTTP Server が含まれている Oracle ホーム・ディレクトリにインストールする必要があります。

次の項では、Oracle Database 10g Products をインストールする方法を説明します。Companion CD 内の製品およびそれらのインストール方法の詳細は、Companion CD に収録されている『Oracle Database Companion CD インストール・ガイド』を参照してください。

Oracle Database 10g Products のインストール

Oracle Database 10g Products をインストールするには、次の手順を実行します。

1. 「Oracle Database 10g Companion CD Release 1 (10.1.0)」というラベルの CD を、ディスク・ドライブに挿入します。

ハード・ディスクからインストールする場合は、`setup.exe` をダブルクリックします。

Oracle Database Companion CD からインストールする場合は、Autorun 画面が自動的に表示されます。Autorun 画面が表示されない場合は、次のようにします。

- a. 「スタート」→「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
- b. 次のように入力します。

```
DRIVE_LETTER:¥autorun¥autorun.exe
```

Autorun 画面が表示されます。Autorun 画面から**製品のインストール/削除**をクリックします。

2. 次のガイドラインに従ってインストールを完了します。
 - 「ファイルの場所の指定」画面で、コンポーネントのインストール先となる Oracle Database インストールの Oracle ホーム名とパスを選択します。

- 「インストールする製品の選択」画面で「**Oracle Database 10g Products**」を選択します。

注意： Oracle Universal Installer 画面の詳細を調べる場合、「ヘルプ」をクリックしてください。

画面	推奨するアクション
ようこそ	「次へ」をクリックします。
ファイルの場所の指定	「インストール先」セクションで、Oracle Database をインストールした Oracle ホーム・ディレクトリを指定する「名前」または「パス」の値を選択し、「次へ」をクリックします。 デフォルトの Oracle ホームのパスは、次のようになります。 c:\oracle\product\10.1.0\db_1
インストールする製品の選択	「Oracle Database 10g Products」を選択し、「次へ」をクリックします。
サマリー	表示された情報を確認し、「インストール」をクリックします。

画面**推奨するアクション**

インストール

「インストール」画面には、製品のインストール中、ステータス情報が表示されます。

インストールの
終了

Oracle Universal Installer を終了するには、「終了」をクリックし、「はい」をクリックします。

8 インストール後のタスク

Oracle Database のこのリリースについて理解するために、次のタスクを実行することをお勧めします。

- WebブラウザからOracle Enterprise Manager Database Controlにログインします。

Oracle Enterprise Manager Database Control は、1つのOracle データベースの管理に使用できる Web ベースのアプリケーションです。Database Control のデフォルトの URL は次のとおりです。

```
http://host.domain:port/em/
```

ログインするには、ユーザー名 `SYSMAN` を使用します。Oracle Database のインストール時にこのユーザーに対して指定したパスワードを使用します。

- 『Oracle Database インストレーション・ガイド』の第4章で、インストール後の必須およびオプションのタスクを参照してください（使用するコンポーネントによって異なります）。
- インストールしたデータベースの構成についてDatabase Controlを使用して学ぶ方法の詳細は、『Oracle Database インストレーション・ガイド』の第5章を参照してください。
- Oracle Enterprise Manager Database Controlを使用してデータベースを管理する方法の詳細は、『Oracle Database 2日データベース管理者』を参照してください。

このマニュアルは、新しい Oracle DBA を対象としており、Oracle Enterprise Manager Database Control を使用して、Oracle データベース・インストールのあらゆる面を管理する方法を説明します。また、インストール時に構成しなかった可能性がある、電子メール通知および自動バックアップを使用可能にする方法も説明しています。

9 追加情報

この項では、次の内容について説明します。

- [製品のライセンス](#)
- [オラクル社カスタマ・サポート・センターへのお問合せ](#)
- [製品マニュアルの入手方法](#)

製品のライセンス

このメディア・パックに含まれている製品は、トライアル・ライセンス契約に基づき、30日間、インストールおよび評価できます。ただし、30日間の評価期間後もいずれかの製品の使用を継続する場合、プログラム・ライセンスをご購入いただく必要があります。

オラクル社カスタマ・サポート・センターへのお問合せ

Oracle 製品サポートをご購入いただいた場合、オラクル社カスタマ・サポート・センターに、年中無休で24時間いつでも、お問い合わせいただけます。Oracle 製品サポートの購入方法、またはオラクル社カスタマ・サポート・センターへの連絡方法の詳細は、オラクル社カスタマ・サポート・センターの Web サイトを参照してください。

<http://www.oracle.co.jp/support/>

製品マニュアルの入手方法

Oracle 製品のマニュアルは、HTML および Adobe 社 PDF 形式で提供されており、入手方法がいくつかあります。

- メディア・パック内のディスク：
 - プラットフォーム固有のマニュアルは、製品ディスクに含まれています。マニュアルにアクセスするには、CD-ROM のトップレベル・ディレクトリにある `welcome.htm` ファイルを参照してください。
- Oracle Technology Network Japan の Web サイト：
<http://otn.oracle.co.jp/document/>

PDF ドキュメントを表示するには、必要に応じて、Adobe 社の Web サイトから、無料の Adobe Acrobat Reader をダウンロードしてください。

<http://www.adobe.com/>

10 その他の情報

クイック・リファレンス

リソース	連絡先 / Web サイト
開発者向けのテクニカル・リソースにアクセスできます。	http://otn.oracle.co.jp/
インストール・マニュアルにアクセスできます。	http://otn.oracle.co.jp/tech/install/
サポート・サービスに関する情報にアクセスできます。	http://www.oracle.co.jp/support/
日本オラクル技術営業の連絡先です。	0120-155-096 (受付時間等の詳細は後述します。)

オラクル製品のインストールに関する情報

オラクル製品のインストールに関する情報およびマニュアルを提供しています。

次の URL を参照してください。ただし、個々の環境に依存する問題または検証が必要となるようなケースでは、サポート・サービス（有償）の契約が必要になりますのでご了承ください。

- OTN インストール・センター

<http://otn.oracle.co.jp/>

「OTN」 → 「テクノロジーセンター」 → 「インストール」

- Oracle Technology Network 掲示板

<http://otn.oracle.co.jp/>

「OTN」 → 「掲示板」 → 「ビギナー」の「初心者部屋」

- インストラクション・ガイド・ダウンロード

<http://otn.oracle.co.jp/>

「OTN」 → 「ドキュメント」 → 「製品名」 → 「OS」

- 製品 FAQ 検索

<http://support.oracle.co.jp/>

「Oracle Internet Support Center」 → 「製品 FAQ 検索」

キーワード: 「インストール」、「install」など

上記を参照しても解決されないインストール時の不明点または問題点については支援サービスを提供しています。下記オラクル製品が対象になりますので次の URL から質問してください。

http://www.oracle.co.jp/install_service/

- 対象製品：
 - Oracle Database Standard Edition
 - Oracle Database Personal Edition
 - Oracle9i Application Server Java Edition
- 対象 OS：
 - Linux x86
 - Microsoft Windows

Oracle Technology Network Japan

OTN Japan は開発者に必要な技術リソースを提供する登録制、日本オラクル公式技術サイトです。OTN Japan に登録（無償）していただくと、技術資料、オンライン・マニュアル、ソフトウェア・ダウンロード、サンプル・コード、掲示板、ポイント・プログラム、オラクル関連書籍のディスカウント、OTN 有償プログラムなど様々なサービスを受けることができます。

■ OTN Japan 登録方法

<http://otn.oracle.co.jp/>

この URL から「OTN の歩き方」を参照してください。

- 技術資料

<http://otn.oracle.co.jp/products/>

オラクル製品の最新情報を提供します。目的とする技術資料を容易に参照できるわかりやすいカテゴリになっています。

- ソフトウェア・ダウンロード

<http://otn.oracle.co.jp/software/>

オラクル製品のトライアル版、早期アクセス版、ユーティリティ、ドライバなどを無償でダウンロードできます。最新バージョンをタイムリに掲載していますので、OTN Japan で提供している技術資料、ドキュメント等とあわせて使用することにより、いち早く最新のオラクル・テクノロジーを体験できます。

- ドキュメント

<http://otn.oracle.co.jp/document/>

オラクル製品のインストレーション・ガイド、リリース・ノート等のドキュメント（マニュアル）を掲載しています。製品に同梱されているドキュメントから有償マニュアルにいたるまで、最新のドキュメントをタイムリに掲載しています。

- サンプル・コード

http://otn.oracle.co.jp/sample_code/

開発者に参考としていただけるよう、プログラムのサンプルを掲載しています。オラクル最新テクノロジーに準拠したサンプル・プログラムの数々をお役立てください。

- 掲示板

<http://otn.oracle.co.jp/forum/>

オラクル製品を使用して開発される皆様のためのコミュニティです。Webによるディスカッション・フォーラム（掲示板）を通して、オラクル開発者間での情報交換ができます。それぞれの開発ノウハウを共有することで、より効率的な開発ができます。OTN 掲示板専用のビューア「OTN Viewer」も使用していただけます。

- ポイント・プログラム

<http://otn.oracle.co.jp/point/index.html>

OTN Japan 活性化に貢献された会員の皆様にポイント進呈する OTN ポイント・プログラムを設けています。獲得ポイントは OTN グッズと交換したり、掲示板投稿時の懸賞ポイントとして使用できます。

- OTN 有償プログラム

<http://otn.oracle.co.jp/upgrade/index.html>

OTN 有償プログラムは、OTN 会員の皆様向けの有償アップグレード・サービスです。OTN Japan サイトで提供している無償サービスに加え、最新のオラクル製品を開発ライセンスで使用していただける OTN Software Kit (日本語版 CD-ROM) の送付やオラクル技術書籍ご購入時のディスカウントなど、有償ならではの様々なサービスを提供します。

- お勧めサービス「SQL 構文検索サービス」

<http://otn.oracle.co.jp/document/sqlconst/>

SQL 文や SQL 関数をオンラインで参照できる SQL 構文検索サービスです。

- お勧めサービス「エラー・メッセージ検索 (Oracle9i)」

<http://otn.oracle.co.jp/document/msg/>

オラクル製品の使用中に表示されるエラー・メッセージについて検索できます。

- お薦めサービス「TechBlast メールサービス」

<http://otn.oracle.co.jp/techblast/>

OTN Japan では、配信を希望された会員の皆様へほぼ月に 1 ～ 2 回メールをお送りしています。新着情報のほか、会員の皆様には是非ともお知らせしたいセミナーやイベント情報、製品や最新技術に関する連載を掲載しています。

OracleDirect

OracleDirect では、電話とインターネットを通じて、製品ご購入前のオラクル製品に関するご質問をはじめとする、お客様からの様々なお問合せに対応いたします。

OracleDirect に関する詳細は、次の Web サイトを参照してください。

<http://www.oracle.co.jp/contact/>

- お問合せ先

TEL: 0120-155-096

FAX: 03-4326-5020

Web 問合せ : <http://www.oracle.co.jp/contact/>

受付時間 : 9:00 ～ 12:00、13:00 ～ 18:00 (土、日、祝祭日、年末年始を除く)

また、OracleDirectにてお受けできるご質問内容は次のとおりとなりますので、ご連絡の前に確認をお願いいたします。

- ご質問にお答えできる内容（概要）
 - 製品に関して日本国内で公表されている一般的な内容
 - 出荷日、出荷予定日
 - 価格およびライセンス
 - システム要件
 - ハードウェア（メモリ容量、ディスク容量）
 - ソフトウェア（対応 OS、対応コンパイラなど）
 - 製品の基本機能（カタログに記載されているレベルまで）
 - 製品バージョン（RDBMS、Net 等の接続対応バージョンの案内）
 - サポート・サービス契約の概要
サポート・サービス契約の照会、確認、お見積もりはディストリビューションセンターまでお願いいたします。
 - カatalog、資料請求、セミナー内容に関するお問合せ
 - お客様の個別環境への提案
 - 製品概要の説明や応用例、システム構成について営業担当者への直接相談

次のお問合わせにはお答えできませんので、あらかじめご了承ください。

- マニュアルに関すること（オンライン・マニュアルも含む）
- 国内未発表の内容（日本オラクルが正式に公表した内容以外のもの）
- 他社から販売されているオラクル関連製品に関するお問合わせ
- 技術的な内容（テクニカルサポート・レベル）

サポート・サービス

オラクルではお客様のシステムの健康状態を維持するために、Oracle Support Services をご用意しています。オラクル製品の専門技術者が、様々な形でお客様の問題解決のお手伝いをいたします。

- 障害回避策提示
- 修正プログラムの提供
- インターネット・サポート
- 技術情報の提供など

Oracle Support Services のサポート・サービス契約をお持ちのお客様は、次の技術サポートを受けられます。サポート・サービスには電話やインターネットによる技術サポートのほか、インターネット上での各種技術情報へ

のアクセス、ご契約済み製品のバージョンアップ用メディアの提供、**Oracle Support NewsLetter**（毎月）の提供などが含まれます。

■ 技術サポート

ご契約のお客様は、インターネットおよび電話による技術サポートを受けられます。お問合せは、毎日 24 時間受け付けております。お問合せの方法についての詳細は、初回ご契約時にお送りする「**Oracle Support User's Guide**」をご覧ください。

インターネットでは、次の Web サイトで **Oracle Support Services** について紹介しています。

<http://www.oracle.co.jp/support/>

■ OiSC（Oracle internet Support Center）

サポート・センターでは、24 時間ご利用いただけるポータル Web サイトとして **OiSC** をご用意し、お客様に役立つサポート・サービス関連情報を提供しています。

- サポート関連の新着情報
- インターネット上での **Oracle Support NewsLetter** の参照
- パッチのダウンロード
- お問合せの受付、更新、状況確認
- 下記 **MetaLink** へのリンク
- サービス内容のご紹介

- **KROWN**

ディレクトリ・サービスやキーワード検索サービスを備えた、25,000 タイトル以上からなる技術情報です。前記 OiSC からご利用ください。

MetaLink: Oracle Support Services をご契約のお客様は、Web によるサポート・サービスである **MetaLink** を 24 時間ご利用いただけます。**MetaLink** は、全世界から集められた英語での技術情報が収録されている知識ベースです。インターネット上でご覧いただけます。

- **Oracle Support NewsLetter**

毎月更新されるサポート技術情報や、新しいバージョンの製品情報などを Email または Web でお届けします。**Oracle Support NewsLetter** には以下の情報が掲載されています。

- 毎月の新着情報。
- 技術情報 (Q&A、Oracle User バックナンバーなど)。
- お客様へのご案内。
- Oracle Support NewsLetter は OiSC でもご覧いただけます。

- お問い合わせ先

日本オラクル株式会社 ディストリビューションセンター

TEL: 0570-093812

受付時間: 9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00 (土、日、祝祭日、年末年始を除く)

ディストリビューションセンターでは、**Oracle Support Services** のサポート・サービス契約について、次のような情報をご案内いたしません。

- 新規サポート・サービス契約に関するご相談
- サポート・サービス契約に基づくサービス内容のご紹介
- サポート・サービス契約書の記入方法
- サポート・サービス料金について

または、次の **Web** サイトにアクセスしてください。

<http://www.oracle.co.jp/support/>

研修サービス

日本オラクルの研修サービスに関する詳しいお問合せは下記までお願いいたします。研修サービスに関する詳細は、次の Web サイトでもご紹介しています。

<http://www.oracle.co.jp/education/>

■ お問合せ先

日本オラクル株式会社 オラクルユニバーシティ

TEL: 0120-155-092

FAX: 03-5766-4400

受付時間 : 9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00 (土、日、祝祭日、年末年始を除く)

Copyright © 1996, 2004, Oracle. All rights reserved.

Oracle は、Oracle Corporation およびその関連会社の登録商標です。その他、ソフトウェアもしくはドキュメントに表示されている商標および登録商標は、Oracle Corporation または各社が所有する商標または登録商標です。